

## A15

Döring K, Eisenmann E, Stiller M:  
Functional and esthetic considerations for single tooth ANKYLOS®  
implant-crowns: 8 years of clinical performance.

ANKYLOS®インプラントを用いた単独歯修復の機能的及び  
審美的考察：8年の臨床成績

*J Oral Implantol* 2004; 30 (3): 198 - 209.

**背景：**

前歯喪失後に歯肉歯槽粘膜移行部が消失し始める。骨内インプラントを早期に埋入することでこの消失はある程度まで予防、又は減じることが可能である。天然歯喪失からインプラント補綴装着までの期間が長い場合には、この消失は著しく進む傾向にある。

**目的：**

本論文は、単独歯の欠損修復のために製作した審美的及び機能的、且つ調和したANKYLOS®インプラントの臨床成功例を8年間にわたり観察した結果を報告する。

**材料と方法：**

前歯部及び臼歯部に総計で275本の単冠ANKYLOS®インプラント補綴物を装着し、8年間にわたりモニターした。このうち、264本のインプラントにはチタン製バランスアバットメントを使用し、11本のみにセラミックアバットメントを用いた。最終補綴物として、メタルセラミッククラウンかオールセラミッククラウンの何れかをグラスアイオノマーセメントでセメント合着した。

**結果：**

インプラント成功率は98.2%で、治癒期に脱落したインプラントは5本のみであった。荷重後から脱落するまでの期間は平均3.2年で、これ以外に脱落したインプラントはなかった。チタン製及びセラミックアバットメントの補綴物コンポーネントが原因で生じる機械的合併症（スクリュー脱落、スクリュー破損、クラウン破損等）は現在までない。

**結論：**

ANKYLOS®インプラントシステムの単独歯修復での使用は、治療の審美的及び機能的結果に関しては成功と考えても良い。インプラント埋入時の機械的合併症や硬及び軟組織に問題がないことから、インプラントとアバットメントのテーパの連結部が機能的に安全であることが示唆される。

*Clinic for Maxillofacial Surgery, Department of Oral Surgery, University of Berlin, Germany.*



1. 露出したインプラント：サルカス・フォーマーに注目
2. CERCON®アバットメント装着（右上中切歯）
3. 患者の高い位置のスマイルライン：インプラントクラウン補綴修復周辺の健康な軟組織に注目
4. CERCON®セラミックアバットメントを装着したANKYLOS®インプラント

**Rinke S:**  
**Clinical performance of Zirconia based implant abutments –**  
**12 months results.**

**ジルコニアベースのインプラントアバットメントの臨床成績 –**  
**12ヵ月間の結果**

*Scientific Poster, 19th Annual Meeting of the Academy of Osseointegration, March 18 - 20, 2004.*

**緒言:**

チタンは骨内インプラントの材料として認められている。セラミックはアバットメントに理想的な材料で、金属のアバットメントやPFMクラウンと比較して審美面で優れており、インプラント修復に適している。セラミックは疲労強度が不足していたため、長い間、セラミックアバットメントを使用することができなかった。酸化ジルコニウムのアバットメントが導入されたことにより、機械的性質に優れており、生体親和性が十分に立証された色も好ましいセラミック材料が、この分野に新しいチャンスをもたらした。

**目的:**

本臨床試験の目的は、個人診療所において、オールセラミックジルコニアをベースにした修復物とジルコニアをベースにしたインプラントアバットメント (CERCON®Balance, FRIADENT GmbH, Germany) を組み合わせた修復物の臨床成績を調べることであった。

**材料と方法:**

2001年7月から2003年1月まで、12名の患者に（男性4名、女性8名）19本の前歯用インプラント (ANKYLOS®, FRIADENT GmbH, Germany) を埋入し、ジルコニアアバットメントを装着した。インプラントは全て、ジルコニアをベースとした単冠のオールセラミッククラウン (CERCON®, DeguDent, Germany) を被せた。クラウンはテンポラリーセメント (Temp-bond, KerrHawe, Germany) で合着し、改正Ryge基準に従ってベースライン時、6ヵ月後、12ヵ月後に調べた。

**結果:**

臨床観察の初期には臨床的に顕著な問題もなく何れのインプラントも維持できた。修復物の平均臨床観察期間は412日であった。評価期間において、ジルコニアアバットメントの破折やスクリュー脱落はなかった。また、維持の喪失やフレームワークの破折、ベニアポーセレンの欠けもなかった。上部構造の辺縁破折抵抗は15のクラウンでA、4本のアバットメントでBであった。色の適合と解剖学的形態は、Aは18本で、Bは1本のみであった。機能リハビリに対する患者の満足度は、10名で「優」、2名で「良」であった。審美に関する結果は全員が「優」と評価した。

*Dental Practice, Hanau, Germany.*



CERCON®バランスアバットメントのデザインと臨床適用

## A19

Trimpou G, Weigl P, Arnold R, Lee J-H, König A, Lauer H-C:  
Rational of prefabricated tapered crown: The SynCone® abutment of the  
ANKYLOS® system.

**既製のテーパードクラウンの原理：ANKYLOS®システムの  
SynCone (シンコーン)® アバットメント**

Scientific Poster, 19th Annual Meeting of the Academy of  
Osseointegration, March 18 - 20, 2004.

**緒言：**

テレスコープ型の上部構造は、インプラント治療の快適さを改善し、際立った安定性、口腔清掃を簡素化することが可能になった。しかし、製作は非常に困難で、時間と費用がかかった。現在は、既製のメス型とオス型のコンポーネントを使用することで非常に簡素化されている。円錐形のインプラントとアバットメントの連結部 (ANKYLOS®System, DENTSPLY Friadent, Germany) の性質が独特であるため、既製のオス型コンポーネントを使用できる (この独特な性質とは、アバットメントの回転する位置を自由に選択でき、また、堅固な回転防止機構 (テーパ接続) による固定機能を持ち合わせていることである)。選択した位置でアバットメントを固定スクリューで締める。これによって、インプラント軸の方向が様々であっても、複数のアバットメントの挿入方向を共通にし、配列を簡単に迅速に行うことができる。円錐型の維持アバットメントを簡単に同調させることができるこの材料の名前をSynCone®アバットメントと命名した。貴金属合金の同等の形のメス型コンポーネントを使用できる。

**材料と方法：**

23名の患者にテレスコープ義歯を装着した。維持は、合計104本のSynCone®アバットメントに求めた。

**結果：**

極めて早い荷重時期に1本のインプラントが脱落した。これ以外は、粘膜炎やインプラント周囲骨喪失の徴候は見られなかった。維持力は、義歯21床では十分であり、2床では低く (2.2N)、1床では高かった (23.4N)。全義歯でパッシブフィットが実現し、マイクロムーブメントを完全に予防することができた。患者のアンケート回答によると、固定式補綴物と同程度に安定していた。治療時間と技工時間は、従来と比較して49.1%減少した。ペリオトロンの数値により粘膜が健康であることが証明され、ペリオテスト値によってリスク時のオッセオインテグレーションの獲得を確認した。

**結論：**

既製の円錐型リテーナーであるSynCone®アバットメントを使用すると、臨床での難易度は低くなり、ボール&ソケットアタッチメントと同程度になる。この補綴物の適合性は高精度であるため補綴物の検出可能な動きがなくなる。故に、患者には有益であることは明らかで、固定式ブリッジや患者自身の歯列と変わりがない。このように、簡単に再現性の高い、費用対効果のある方法で、高品質の義歯ができあがる。

Department of Prosthetic Dentistry, University of Frankfurt, Germany.



口腔内に装着したSynCone®アバットメント



オス型コンポーネントに装着したメス型コンポーネント



補綴物装着後